



85歳を迎えた人の代表者に、座布団が手渡されました

高齢者の長寿と健康を祝う

カメリーナで敬老の集いを開催

25年度の町敬老の集いは9月14日、カメリーナで開かれ、町内の70歳以上の高齢者約1000人が出席しました。前後公町長、宇月静子町婦人連絡協議会長があいさつした後、今年85歳を迎えた人たちに、特別記念品の紫座布団が手渡されました。引き続き行われた演芸では、さくらこども園、猪苗代幼稚園の園児や町婦人連絡協議会の会員らが歌や踊りなどを披露し、出席した皆さんの長寿と健康を祝いました。

町の代表が接戦繰り広げる

市町村対抗県軟式野球大会で惜敗

第7回市町村対抗県軟式野球大会は9月22日、福島市のあづま球場で1回戦が行われ、猪苗代町チームが柳津町チームと対戦しました。先発した山本晃史投手は立ち上がりには1点を失ったものの、尻上がりに調子を上げ、2回以降に許したヒットはわずか1本。柳津町を最少失点に抑えました。相手投手も好投し、息詰まる投手戦となりましたが、少ないチャンスをものにした柳津町に0対1で惜しくも敗れました。選手の皆さんお疲れさまでした。



好投の相手投手から2塁打を放った安藤雄一選手

教育施設の環境向上のため

ビルドの会が教育施設補修のボランティア

町内の建設業者などで作る、猪苗代ビルドの会(佐藤好市会長)は9月20日、教育施設補修などのボランティア活動に取り組みました。この活動は、同会の恒例行事となっており、今年で16回目を迎えました。町役場前での出発式を終えると、会員14人が3班に分かれて出発。町内の保育所、幼稚園や小中学校など13施設を訪問し、雪囲いの設置、ドアや照明設備などの調整・補修などを手際良く行いました。



千里幼稚園に雪囲いを設置する会員の皆さん

1800人が自慢の健脚競う

磐梯高原猪苗代湖マラソンを開催

第8回磐梯高原猪苗代湖マラソンは9月7日、ホテルリステル猪苗代をスタート・ゴールとし、猪苗代湖周辺を走る3コースで開催されました。猪苗代湖を1周半回る100㌔、1周する65㌔、郡山市の舟津公園で折り返す42.195㌔、同公園からリステルまでの21.0975㌔の4コースに合わせて約1800人が参加。磐梯山や猪苗代湖の景色を眺めながら、日頃のトレーニングや健康づくりなどで鍛えた自慢の健脚を競いました。



早朝5時、100㌔、65㌔コースのスタート



写真上 女子400メートルリレーは緑小が大会新記録で優勝

写真中 男子100㌔、男子走り幅跳びと400㌔リレーで三冠を達成した猪苗代小の菅野さん

写真下 女子100㌔と800㌔の2種目で大会記録を塗り替えた千里小の小林さん(右から2人目)

小林楓羽さん 2種目で大会新

野口博士顕彰記念町内小学校体育祭

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭は9月19日、町運動公園陸上競技場で開かれ、町内6小学校の児童が全力で競技に取り組みました。千里小の小林楓羽さんは800㌔の大会記録を約30年ぶりに塗り替えて優勝。さらに100㌔でも大会新記録で優勝するという快挙を成し遂げました。また、女子400㌔リレーでは緑小が大会新をマーク。男子では、猪苗代小の菅野健太さんが100㌔、走り幅跳びと400㌔リレーの三冠に輝きました。各種目の優勝者は次のとおりです。
【男子】●100㌔ 菅野健太(猪苗代)14秒1 ●80㌔障害 栗田拓(吾妻)14秒1 ●1000㌔ 渡部路夢(千里)3分28秒9 ●走り高跳び 古川凌万(猪苗代)1㌔24 ●ソフトボール投げ 長嶺有真(長瀬)50㌔08 ●走り幅跳び 菅野健太(猪苗代)4㌔17 ●400㌔リレー 猪苗代 57秒2
【女子】●100㌔ 小林楓羽(千里)14秒0＝大会新 ●80㌔障害 安部マリア(緑)14秒4 ●800㌔ 小林楓羽(千里)2分34秒3＝大会新 ●走り高跳び 遠藤寧音(長瀬)1㌔17 ●ソフトボール投げ 村尾碧(緑)32㌔56 ●走り幅跳び 鈴木杏奈(猪苗代)3㌔49 ●400㌔リレー 緑 59秒0＝大会新

高遠町で猪苗代の郷土芸能披露

いなわしろ天鏡太鼓が交流都市で演奏

9月7日に長野県伊那市高遠町で開催された「高遠城下まつり」に、いなわしろ天鏡太鼓(梶マサ子会長)が出演しました。本町と高遠町は、保科正之公ゆかりの地として平成16年から交流を深めてきました。いなわしろ天鏡太鼓のメンバー10人による力強い太鼓の音は、雨あがりの高遠の町と高遠の人々の心に響き渡りました。本町と伊那市高遠町との絆を感じさせる素晴らしい演奏に、会場からは大きな温かい拍手が送られました。



力強い演奏を披露した、いなわしろ天鏡太鼓の皆さん

親子連れなどがスポーツに親しむ

カメリーナでニュースポーツフェスティバル

ニュースポーツフェスティバルは9月7日、カメリーナで開かれました。体育館の床で行うカーリングの「フロッカー」、大きめのボールで卓球をする「ラージボール」など4種目が行われ、親子連れなど約70人の参加者が爽やかな汗を流しました。子どもと訪れた佐藤幸江さん(磐根)は「いろいろな種目を体験できるので、子どもが得意な種目を見極めるといい点でもいいと思います」と話しました。



フロッカーに挑戦する子どもたち



前後町長から表彰状を受ける山野邊さん(右)

社会教育振興の功績称える

山野邊喜勝さんに特別表彰

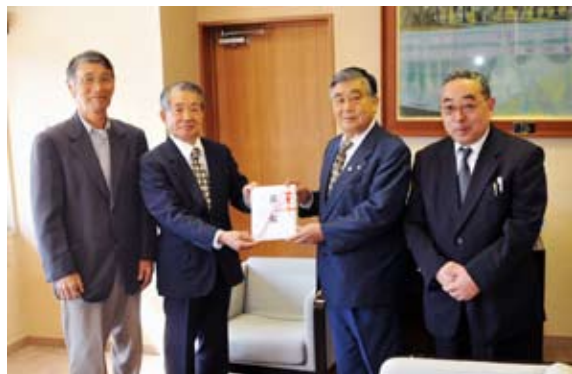
平成8年から16年にわたり町の社会教育委員長を務め、昨年3月に退任された山野邊喜勝さん(金曲)が県市町村社会教育委員連絡協議会の特別表彰を受けました。この表彰は、長年にわたり北会津地区社会教育委員連絡協議会の会長を務め、社会教育の振興と地域の発展に貢献した功績が認められたものです。表彰状伝達式は9月25日、町役場で行われ、前後公町長が山野邊さんに手渡しました。

町のスポーツ振興に役立てて

福島県スキー連盟が町に寄付

福島県スキー連盟は9月19日、スポーツ振興に役立ててほしいと町に250万円を寄付しました。贈呈式は同日、町役場で行われ、同連盟の渡部孝美会長と鶴巣守理事長が前後公町長と土屋重憲教育長に目録を手渡しました。

本町では、来年2月に全国高校総体(インターハイ)スキー競技を控えていることなどもあり、頂いた寄付金をスポーツ環境の充実に活用する予定です。



前後町長に目録を手渡す渡部会長(右から3人目)

コミュニティ助成事業で太鼓、みこしなどを整備



千貫地区に整備された太鼓やテントなど



八千代区自治会に整備された子どもみこし

このたび、財団法人自治総合センターの宝くじ普及広報事業費を活用した、平成25年度コミュニティ助成事業により千貫地区に太鼓やテントなど、八千代区自治会に子どもみこしが整備されました。

ジオガイドの役割を考える

東北ジオパークフォーラム in 磐梯山

第2回東北ジオパークフォーラム in 磐梯山は9月5日、学びいで開かれました。磐梯山地域や秋田県の男鹿半島・大瀧の関係者など約200人が参加。日本ジオパーク委員で東京学芸大学教授の小泉武栄氏が基調講演し、「自然観察の視点」をテーマに、ガイドが注目すべき自然の見どころなどを解説しました。このほか各地のジオガイドの取り組みの発表や1888年の磐梯山噴火で発生した火山泥流の再現実験なども行われました。



基調講演を行う小泉教授(手前)

町民らがスポーツの秋満喫

町民大運動会で心地よい汗を流す



1_応援しているほうも思わず力が入る綱引き。地区の人たちから盛んな声援が飛びます 2_ウルトラクイズで正解し、喜びを爆発させる子どもたち 3_地区対抗リレー男子のスタート。地区の名誉をかけて懸命に走ります



第32回町民大運動会は9月1日、町運動公園陸上競技場で開かれ、町内6地区から参加した約1,100人が親睦を深めました。小・中学生の徒競争や老人クラブ会員による「ゲートインワン」などの年代別競技のほか、地区対抗のムカデ競走、綱引きやリレーなど計17種目で熱戦が繰り広げられました。地区別の成績では「地区対抗綱引き」「いざ! 出動」などを制した猪苗代地区が総合優勝に輝きました。



桜の生長を願って下草を刈る参加者

桜の生長を願い汗を流す

DHC桜みらいの森で下刈り作業

びわ沢原森林公園内の「DHC桜みらいの森」で9月7日、下刈りのボランティア活動が行われました。健康食品・化粧品製造販売業のディーエイチシーは昨年11月、全国の自治体から寄せられた1000本の桜を同公園に植樹。今回は社員や町民ら約150人が参加し、苗木の周りの下草刈りに汗を流しました。昼食時には、見称地区の「結乃村農楽団」の皆さんが手打ちそばを振る舞い、参加者から好評を博しました。

イノシシの生態や対策を学ぶ

アグリいなで「いなわしろケモノ塾」

町では、有害鳥獣による農作物などの被害を防ぐため、町民の皆さんを対象に「いなわしろケモノ塾」を開催しています。第4回目の講座「イノシシについて知ろう!」は9月15日、アグリいなで行われ、約30人の参加者がイノシシの生態や対策などについて学びました。初回から参加しているという大竹力さん(道下)は「写真を使ったかるたなどで楽しく学べた。子どもたちも参加するようになってきてよかったと思う」と話しました。



講師の説明を熱心に聴く参加者

次回は、鳥獣被害の調査方法について学びます。参加費は無料、どなたでも参加できます。

問い合わせ・申し込みは町農林課まで ☎(62)2116